

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	韓国語 I
科目基礎情報						
科目番号	0224		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	生越直樹, 曹喜澈「ことばの架け橋 改訂版」(白帝社)					
担当教員	呉 青姫					
到達目標						
1 ハングル(24文字)の基本文字を正確に覚える。 2 複雑な発音規則を理解する。 3 初歩的な韓国語表現を理解する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ハングルを正確に覚えた。		ハングルをほぼ覚えた。		ハングルをあまり覚えられていない。	
評価項目2	複雑な発音規則を正確に理解した。		複雑な発音規則をほぼ理解した。		複雑な発音規則をあまり理解できていない。	
評価項目3	初歩的な韓国語表現を正確に理解した。		初歩的な韓国語表現をほぼ理解した。		初歩的な韓国語表現をあまり理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (E)						
教育方法等						
概要	【授業目的】 韓国語で基本表現を話せるようにすることを目的としている。そのため、ハングル(24文字)を正確に覚えたらうで基本文法を学習し、応用力を身につける。また、韓国語会話を通じて韓国文化、生活習慣などを学習する。 【Course Objectives】 The purpose of learning the Korean language is to understand culture, customs and life in Korea through speaking simple expressions.					
授業の進め方・方法	【授業方法】 ハングルと韓国語の基本文法について説明する。ハングルと文法は、復習や質問をしながら正確に覚えるようにする。基本会話を効率的に身につけるために、毎週、授業中に小テストを実施する。 【学習方法】 会話に入る前に、ハングルを覚えておく必要があるので、前期中間までに正確に覚えること。ハングルの読み方は発音に注意して、CDを聴きながらきちんと覚えること。最近は韓流ブームで韓国に関する映画、雑誌、書物などが多く出ているので、それらを参考にしても良いと思われる。					
注意点	【定期試験の実施方法】 中間と期末試験を設けている。 中間試験は課題提出、期末は筆記試験の形をとる。 期末筆記試験の時間は50 分。 【成績の評価方法・評価基準】 成績は100点満点である。 授業中のパフォーマンス(20%) 提出課題(30%) 期末試験(50%) 【履修上の注意】 韓国・朝鮮語を本格的に学びたい人や韓国文化に興味を持っている人は誰でも歓迎します。近年、韓流ブームにともなって日韓の文化交流が活発になり、韓国の映画、ドラマ、書物なども多く入ってきています。この授業を通じて、韓国語とともに韓国の文化や生活習慣も学んでください。両国間の関係は、文化交流だけでなく、経済的な関係においても重要性が高まってきています。韓国語を学習し、両国の架け橋の役割をしたいと思っている学生はぜひこの授業で韓国語の基本表現を身につけてください。 【教員の連絡先】 研究室 B棟2階 非常勤講師室 (B-206) 内線電話 8125 e-mail:					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明、ハングルについて：母音（1）	1		
		2週	ハングルについて：子音（1）	1		
		3週	ハングルについて：子音（2）	1		
		4週	ハングルについて：母音（2）	1		
		5週	パッチムと連音化	2		
		6週	発音の変化	2		
		7週	発音のまとめと小テスト	2		
		8週	ハングルの書き方と発音の練習（復習）	1		
	2ndQ	9週	名詞文の叙述・疑問	3		
		10週	存在文の叙述・疑問	3		
		11週	用言文の叙述・疑問	3		
		12週	漢字語数詞	3		

		13週	映像で韓国、韓国語を楽しむ	3
		14週	総括	3
		15週	質疑応答	1, 2, 3
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	30	20	100
基礎的能力	50	0	0	0	30	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0